

令和3年度入学生用カリキュラムマップ

【心理・人間関係学科】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2
21JPWC1011	初期演習 I	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」「教育目標」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、主体性・論理性・実行力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアパスを自ら構築する。	短大の修学の基礎となる単位制を理解し、適切な履修計画に沿って修学する主体性、考える力を身につけ、所属学科の3つのポリシーに基づく専門教育の概要を把握し、自らのキャリアパスを組み立てる力を身につける。また、良識ある社会人となるための社会人基礎力の必要性を理解し、その基盤となる十分なコミュニケーション能力を培い、基本的な社会ルールを理解し、本学学生としての誇りと自覚を身につける。さらに、学習・研究を進める上での倫理の基礎となる情報の取り扱いに関する知識を身につける。						◎	◎			○		○	○	○	
21JPWC1021	初期演習II (心理・人間関係)	1	「初期演習II (心理・人間関係)」の目的は、「初期演習I」で培った力をさらに発展させ、学院の教育理念、立学の精神に基づいた、本学学生としての誇りと自覚を持ち、大学生にふさわしい主体性・論理性・実行力を培う。講義の中で、本を読む、文章を書くなど、大学生の基礎的な能力を養うとともに、学生および教員との人間関係の基礎を身につける。このような講義を実施し、短期大学部心理・人間関係学科の教育目標を達成するように導く。	1. 「立学の精神」、それに基づく「教育目標」、「教育推進宣言」、学院の歴史について理解する。 2. 主体的に学び、実践する姿勢を身につけ、積極的に意見を発表・伝達するために、本を読み、自ら考え、文章に表現するなどの基礎的な能力を養う。 3. 学生相互や担任教員との豊かで円滑な人間関係の基礎を築く。 4. 女性として社会で活躍するための、キャリア形成の基礎を身につける。						◎	◎			○		○	○	○	
21JPWC1031	女性のライフステージとキャリア	1	心理・人間関係学科で学ぶ4つのライフステージ「自分らしさを見つける」「家庭をつくり支える」「自分を社会に生かす」「コミュニティーに参加する」を通じた女性のライフスタイルの全体像について理解し、2年間の学習プランを自ら構築できる基盤を築く。	1. 各ライフステージの基礎知識を習得する。 2. 女性が直面しやすいライフイベントについて、心理学および社会福祉学の視点から理解することができる。 3. 女性としての自らの生き方のアウトラインを思い描くことができる。			○	○					○		○	◎		○	
21JPWC1043	現代女性論	1	政治・経済が激変する中、女性の生き方も多様化している。同時に、若い女性にとっては、母親世代を含め、これまでの女性の生き方がモデルとして成り立たなくなっている。そのような状況において、女性として生きていく上での必要な知識を習得し、主体的に考え、行動できる力を養う。	1. 日々の生活の中で女性性やジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。 2. これまでの「とらわれ」から自由になり、主体的な選択ができるようになる。										◎	◎		○	○	
21JPWC1053	社会人のマナーとルール	1	ビジネスパーソンとして就業するために必要となる基本的な就業のルールを理解し、ビジネスマナーに関する知識・スキルを習得するとともに、社会人としての資質を向上させることを目的とする。	1. ビジネスパーソンとして職務を遂行するために必要な就業のルールやビジネスマナーを理解し、新入社員として職務遂行できるレベルに到達する。 2. ビジネスマナーなどの資格試験3級程度に合格できるレベルに達する。									○	○	○		○	○	◎
21JPWC1063	オフィスワークの日本語表現	1	社会人に求められる基本的な文章表現能力の習得を目的とする。	論理的に思考し、相手を意識した文章表現力を養う。				○					◎						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																	
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																	
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 判断		4. 態度・志向性										
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3											
21JPWC1071	英語会話Ⅰ	1	聴く、読む、書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	英語の基本的な文法事項などを復習し、コミュニケーション活動を通して基本的な会話が英語でできるようになることを目標とする。					◎													
21JPWC1081	英語会話Ⅱ	1	聴く、読む、書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	「英語会話Ⅰ」で身につけた基本的会話表現・スキルを応用し、さまざまな状況で英語による意思伝達ができるようになることを目標とする。					◎													
21JPWC1091	情報リテラシー	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。	1. 本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 2. 基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識をもち、場面に応じて安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 3. レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。						○			◎									
21JPWC2013	専門演習	2	学業の最終的な仕上げとして、研究成果物をまとめる。	テーマを設定して研究を行い、その成果をプレゼンテーションにより他者に伝えることができる。	◎	◎	◎	◎	◎			○	◎									◎
21JPWC1103	心理学概論A	1	「行動の科学」としての心理学の基本的な考え方と方法論の理解を第一の目標とする。また、心理学の諸領域で学ぶ総論的な知識を、心の成長・発達や日常生活の身近な出来事と関連させて理解することにより、対人援助の科学としての人間科学の一翼を担う心理学についての理解を深化させる。	心理学の諸領域について、その基本的な概念・考え方を理解している。						◎				○		○				○		
21JPWC1113	心理学概論B	1	発達心理学および臨床心理学を中心に心理学の基礎を学ぶ。また、心理学が活用されている領域について知る。そして、それぞれの領域の心理学の活用方法などを理解する。	1. 心理学の基礎知識を踏まえて、心理学の特徴を理解できる。 2. 各領域での基礎知識に基づいて、個人や集団へのアプローチを理解できる。	◎									○		○	○				○	
21JPWC1123	対人関係の心理学	1	私たちの日々の人間関係の重要な部分を構成する人と人との関わりに関する心理学的メカニズムを学ぶ。	人類の繁栄の礎となった「人間関係の設計図」について理解し、その理解を基に、社会に貢献できる人間としての志を獲得する。	◎					○	○	○			○						○	
21JPWC2023	こども心理学	2	発達心理学の基礎的な概念・用語と、胎児期から青年期までの発達の概要について理解する。	1. 胎児期から青年期までの発達の概要がイメージできる。 2. 自分のこれまでの発達の理解に知識を活用することができる。	◎										○	○						
21JPWC1133	臨床心理学	1	臨床心理学の基本的な理論や実践について学ぶ。	自分自身の「心」への理解を深め、また「こころ」に問題を抱える人々への理解や援助についての基礎知識を身につけることを目標とする。臨床心理学を学ぶことを通して、「心」の奥深さを知り、人間性が涵養されることも期待している。	◎										○							
21JPWC1143	カウンセリング心理学	1	カウンセリングの意義や対人援助の原則について理解を深め、概要や基礎について学ぶことを目的とする。	各自がカウンセリングについて理解し、自他のこころに思いをめぐらせることができるようにすることを目標とする。	◎											○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3			
21JPWC2083	プロジェクトマネジメントの実践	2	プロジェクトマネジメントを通して、計画の重要性や問題解決の方法を体験的に学び、自ら考え抜く力を身につける。また、コミュニケーションやチームワークの重要性を認識し、自らチームメンバーとして参画することで人々と関わりあって物事を進めることの楽しさや効率の良さを学びとる。	この講義を通して以下の知識や能力を習得し、社会で十分に発揮できることを目標とする。 (1) プロジェクトマネジメントに関する知識の理解 (2) プロジェクトマネジメント手法の理解 (3) 実現可能性が信じられるゴールを設定し、それに向けた道筋を明確にして実行する。 (4) なぜを繰り返すことで自ら考え抜くことができる。 (5) ファシリテーション技術を習得する。 (6) コミュニケーションマネジメント（傾聴他） (7) チームを理解し、チームメンバーとして能力を発揮する。 (8) プロジェクトを進める上で考えるべき、品質、コスト、工程、環境等多様な情報に基づき問題を解決することができる。						◎	◎	◎	○	○		○	○	○	
21JPWC2093	現代社会と福祉	2	現代社会における福祉制度の意義、福祉政策、ニーズと社会資源、相談援助活動との関係など、社会福祉についての理念、価値を理解する。	社会福祉の理念や価値を理解して行動できるようになる。		◎												◎	
21JPWC2103	こども家庭福祉	2	現代社会において、こどもを取り巻く環境が厳しくなっており種々の事柄が社会問題となっている。こどもを取り巻く社会を理解し、こどもや家庭への支援について考える。	理解に基づいて、活動できる基本的な知識を身につける。		◎												○	
21JPWC2113	介護とリハビリテーション	2	1. 介護とリハビリテーションの概念について理解する。 2. 介護職に必要な職業倫理、専門知識について理解する。 3. 介護の技法（生活支援技術）について理解する。	1. 介護の概念や対象を理解し説明することができる。 2. 介護予防とリハビリテーションの基本的な考え方を理解し説明することができる。 3. 介護の技法（生活支援技術）の基本を理解し説明することができる。 4. 認知症ケアおよび終末期ケアについて理解し説明することができる。		◎					○							○	
21JPWC2123	家族の心理と福祉	2	私たちはみな、家族という最初の社会化の場で生活し、様々なことを学んでいる。しかし、時代の移り変わりとともに家族形態も変化し、家族の役割も変化してきている。変化する家族機能の背景を理解し、家族の中で生活するその時々課題について心理・福祉的アプローチを考える。	1. 家族の機能と役割を踏まえ、家族が成長する時々生じる課題と解決策について考える。 2. 多様化する家族観の理解に努め、柔軟な思考を醸成することができる。	◎	◎											○	○	○
21JPWC2133	女性と法律	2	これからの社会を生きるにあたり大切となる法律について、その基本的知識、考え方、社会的背景について理解を深める。現代の女性が置かれている状況を具体的事例に即して考察し、その中で法律の役割、課題を考える。	以下のような素養・能力を身につけることを到達目標としている。 (1) 就職や結婚、相続など、人生の節目における法的なポイントに関する知識・理解力 (2) トラブルに遭遇した時に法的な解決策を見出すための知識、論理的思考力 (3) 法律を通して現代社会の課題を見出す探究心 (4) 法律を担う市民としての社会的責任感									○	◎	◎	○	○	○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 判断			4. 態度・志向性				
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3							
21JPWC2143	健康と医療サービス	2	健康と医療は人生における重要な関心事である。健康と保健医療福祉分野をめぐる現状をよく知り、私たちの健康に絡む今後の課題について理解を深める。受講生一人ひとりが、健康とは何か、より良い保健医療福祉サービスとは何かを考える機会とする。	1. 今日における保健・医療・福祉サービスの現状と課題を理解することができる。 2. 医療ソーシャルワーカーが保健医療分野に存在する意義について説明することができる。	◎					○					○	○		
21JPWC1163	レクリエーション概論	1	レクリエーションについての基本的理論を理解し、現代社会における課題からレクリエーションの果たす役割、意義についての基盤を築く。	1. レクリエーションの基本的な考え方を理解し、現代社会の課題を踏まえてレクリエーションの内容が多岐にわたることを理解することができる。 2. レクリエーションの歴史を学び、その定義や捉え方が時代とともに変遷していることを知り、現在のレクリエーションの定義について、認識を深めることができる。 3. コミュニケーションの原点であるアイスブレイキングとホスピタリティについて学び、その手法を習得する。 4. 行事の企画と運営の方法について学び、反省評価も含めて企画できる能力を習得する。		◎	○	○				○	○	○				
21JPWC1173	レクリエーションアクティビティ	1	さまざまな領域の人々が楽しさを体験できる活動を活用しながら、関係を構築する能力、問題を理解し解決する能力、自己を表現する能力を高める。	1. 意図的なグループ経験を通じて、社会人になる準備として必要なコミュニケーション力を身につける。 2. 個人が社会の中で機能し、個人、集団、地域社会の諸問題により効果的に対処するための「姿勢・態度・行動」を習得する。			○	○	◎			○				○		
21JPWC1183	コミュニケーションワークの基礎	1	多様なライフステージに応じた芸術・文化活動、各種ニュースポーツやグループゲームなどの体験学習を通して、それぞれの種目を指導できる基礎的技術を身につけることを介して、コミュニケーション能力の基盤を築くことを目的とする。	1. 各種目特性の理解を深め、実際に種目を実施できる。 2. 各種目に対する技術的な指導から参加者をまとめるリーダーシップを指導場面において適切に示すことができる。 3. 対象者が楽しく参加できるように、実践的な場でのコミュニケーション能力を身につける。			○	◎				○			○	○		
21JPWC2153	レクリエーションマネジメント	2	レクリエーション指導（支援）の意味を理解し、レクリエーションを総合的に支援する「マネジメント」に必要な資質を身につける。	レクリエーションが展開されるさまざまな分野において対象者のニーズを把握し、レクリエーションを組織的・計画的に展開するための理論と方法を修得する。			○	○	○	○		◎			◎			
21JPWC2163	障害とスポーツレクリエーション	2	障がいを持つ人が行うスポーツやレクリエーション活動に関する知識や技能の基盤を実践を通して築く。	1. 主に初めてスポーツやレクリエーション活動をする障がい者に対し、参加することの喜びや楽しさを重視したスポーツやレクリエーション活動の導入を支援するために必要な知識と技能を習得する。 2. スポーツやレクリエーションプログラムの立案、企画、実施、評価という一連のプロセスを実践できる場面を通して、指導者に求められる能力を習得する。			◎		◎	○		○			○	○		
21JPWC1193	オフィスワークの英語 I	1	社内の公用語を「英語」とする日本企業があらわれ、会社の規模にかかわらずグローバル化をすすめる会社が増えている。もはや英語は一部の部署のみで必要とされる特殊能力ではない。そんな社会で今後活躍が期待される受講生が「英語力」で不利益を被ることがないようビジネスに必要な基礎力を身につけることを目標とする。	1. 英語で自己アピールできる。 2. 短大で学んでいる内容について英語で簡潔に説明できる。 3. 部署名を英語で理解できる。 4. 基本的な電話応対ができる。 5. ビジネスレターのフォーマットが理解できる。								◎	○	○		○	○	○

